

までがど 特派員 だよー

上尾の魅力を発信「あげおアッピーガイドの会」

たかせ ようこ
高瀬 陽子さん
(上尾地区)



6月9日に行われた「駅からハイキング」の途中、いくつかの寺社で紺のベストを着た人たちを見つけた人もいます。ボランティアで神社仏閣のガイドをしている「あげおアッピーガイドの会」の皆さんです。今では日本各地に観光ガイド会がありますが「どうとう上尾市にもできたんだ」と思い、宮田敬生会長にお話を伺いました。

観光立県を目指し各市に観光協会を作ろうと呼び掛けた埼玉県の首頭で、平成23年1月、あげおアッピーガイドの会は9人で設立されたとのこと。その後、同年夏にガイド養成講座が開かれ、現在は約30人の会員が活動しているそうです。「当初は上尾市の魅力を市外

に発信し観光客にガイドをすることを目標にしていますが、自分達が市内のことを知らないことに気付き、まず会員一人一人の知識習得に努めることにしました」と宮田会長。毎月の例会では上尾の歴史だけでなく日本文化全般の座学、市内の企業見学や寺社でのガイド実地研修を行っていました。宮田会長は「勉強すればするほど、地元のことを知らなかったことに気付くんですよ



ガイドの皆さんと一緒に

脳梗塞を乗り越え 上尾歴史散歩に挑戦

スポット ライト ～人・仲間～

かわしま いちろう
川島 一郎さん
(小敷谷)



「広報あげお」の人気コーナー「上尾歴史散歩」で4月から「上尾サイクル紀行」を執筆する川島一郎さんは、平成14年秋、車での「四国八十八箇所お遍路」に出発する前日、突然足が動かなくなるような不思議な感覚に襲われました。慌てて家族に病院まで送ってもらいましたが、到着時には症状がさらに悪化し、診察室まで車いすで運ばれる状態になってしまいました。

診断は脳梗塞。翌日になると右半身が完全に麻痺している自分の現状を自覚します。「シヨックは大きかったです、開き直って復活に向けて挑戦したいという思い

がすぐに芽生えました」と当時の気持ちを振り返ります。入院中、リハビリは悪戦苦闘の連続でした。「何度も失敗すると精神的に疲れますが、初めはできなくて当然」と念じることで気持ちが少し楽になりました」と語ります。1カ月後には無事退院できましたが、家に帰ってから再発や手術などが続き、生活の全てがリハビリでした。「その一環として始めた自転車もしばらくは黙々と前だけを見詰めて走り、周囲の景色など一切目に入りませんでした」その後10年、リハビリを続けて少しずつ行動範囲が広がった川島さんは「ぐるっとサイクルリング同好会」に参加し、『上尾サイクルマップ(東・西)』の編集に携わることになりました。このことがきっかけになり「長年住んでいても知

★川島さんが自費出版した『挑戦! 脳梗塞からの復活』(文芸社)には、リハビリを経て回復するまでの詳しい記録が書かれています。ぜひご一読ください。

アッピ-Net

☑=対象(記述がないものは誰でも可) ☑=定員
 費=参加費または入場料(記述がないものは無料)
 持=持ち物 申=申し込み 当=当日、直接会場へ(事前申し込み不要)

☆おいでください

■**交流ぶらすかい ぶちとも「算数・数学 学びなおしてみよう」** 7月8・22日(月)①算数/午後5時30分～6時30分②数学/午後7～8時、上尾公民館502 持筆記用具、ノート 費500円 当 野村☎090-6782-3644 **ひと言!** 大人も子どもも算数・数学をもう一度学んでみよう!

■**ヨガ・体験教室** 7月9日(火)午前10時～正午、上尾公民館 定10人(先着順) 申7月7日(日)までに電話で 藤牧☎775-6650(午後7～9時) **ひと言!** 心身共にリフレッシュさせませんか。

■**フラダンス無料体験** 7月24日(水)午前10時～正午、上尾公民館401 当 車木☎775-6844 **ひと言!** 楽しく優雅にフラダンス。初心者歓迎いたします。

■**市民のくらしとお金の講習会**(上尾FP倶楽部) 7月28日(日)午前9時30分～11時、上尾市市民活動支援センター 定6人 持筆記用具、電卓 費100円(資料代) 申7月26日(金)までに電話で 古屋☎080-3524-9138 **ひと言!** くらしに役立つお金の知識を毎月1回楽しく学ぶセミナーです。

■**日本舞踊発表会「まゆ」** 8月3日(土)午後1～4時(0時30分開場)、上尾市コミュニティセンターホール 当 花柳☎771-0998 **ひと言!** 若い人も大勢います。若い男性もいます。ぜひお越しください。

■**第13回チャリティー藤真流舞踊夏まつり** 8月4日(日)午前11時～午後4時30分(10時30分開場)、上尾市文化センター中ホール 当 沼田☎775-7898 **ひと言!** 先着200名様お弁当をご用意いたします。お待ちしております。

■**鈴虫交換会・無料頒布会** 8月4日(日)午前8～10時、富士見小学校内体育館横 持鈴虫幼虫または容器 当 渡邊☎090-2178-0626 **ひと言!** 鈴虫お持ちください。欲しい人は無料で差し上げます!

☆いきいきサークル 会員・団員募集

●**健康レクダンス** 毎月3回木曜日午前10時～11時30分、畔吉集会所 月額千円 林☎726-4173 **ひと言!** やさしく楽しいレクダンス。皆さんの参加お待ちしております。

●**アクエリアス**(ヒップホップジャズダンス) 毎月4回水曜日正午～午後1時30分、市民体育館 女性 月額3千円(入会金千円) 小池☎080-5034-4443(午後9時まで) **ひと言!** 基本から丁寧に指導します。ストレッチ&ダンスで楽しく健康。

●**短歌会こだま** 毎月第3金曜日午後1～4時、上尾市コミュニティセンター 月額2千円 小山☎771-9203 **ひと言!** 講師江口百代先生を囲んだ楽しい語らいの場です。初心者歓迎。

●**大石マハロ・ウクレレクラブ** 毎月第1・3土曜日午前10時～正午、大石公民館 月額2,500円(入会金千円) 並木☎726-5726(午後5時以降) **ひと言!** ウクレレを学び、奏できます。初心者・経験者歓迎です。

●**シャンソン・ミモザの会** 毎月第1・3木曜日午後1時15分～3時15分、上尾市コミュニティセンター音楽室 1回2千円(入会金千円) 水田☎726-4601(午後7時～8時30分) **ひと言!** おしゃれで楽しいシャンソン教室。初心者も大歓迎。

●**ひばり会**(カラオケ歌謡教室) 毎月2回火曜日午前9時30分～正午、原市公民館 月額2千円 江藤☎787-7285 **ひと言!** 健康と生きがいのために歌って楽しみましょう。見学も歓迎です。

●**ハローB・C**(ママさんバスケットボール) 毎週土曜日午後5～7時、平方北小学校 月額千円(入部から10カ月間は2千円) 松野☎725-3159 **ひと言!** バスケットが好きな人、一緒に楽しみませんか。

●**ハングル会** 毎月3回火曜日①初級午前9時～10時30分②中級10時30分～正午、上尾市コミュニティセンター 初初級は1・2年ぐらゐの経験者 月額4千円(入会金2千円) 中村☎725-4543 **ひと言!** 楽しみながらしっかりハングルが学べます。参加お待ちしております。

●**上尾コントラクトブリッジクラブ**(トランプ) 毎週火曜日午後1～5時、上尾公民館 年額3千円(入会金千円) 伊藤☎781-7581 **ひと言!** 世界で1億人がペアで楽しんでいるトランプゲームの王様です。

●**尺八二三会** 毎月4回金曜日午後1～5時、平方公民館 月額2千円 比留間☎725-1718(午後6時以降) **ひと言!** 童謡・演歌・民謡・本曲など楽しくやっています。初心者大歓迎。

●**上尾エッセークラブ** 毎月第4火曜日午後1時30分～5時、上尾市コミュニティセンター 月額1,500円(入会金千円) 白石☎772-2989(午後5時以降) **ひと言!** 書くことを一緒に楽しみませんか。丁寧に指導します。

●**上尾あずまバレーボール女子** ①毎週土・日曜日午前8時～午後2時他②毎月2回水曜日午後5時30分～7時30分、東町小学校他 小学生 月額2,500円(入会金3千円) 石田☎773-9645(午後9時まで) **ひと言!** 現在2～6年生で活動しています。ぜひ見学に来てください。

●**太極拳の会** 毎月第2・4土曜日午前10時～11時30分、弁財ふれあい会館 月額500円(会場使用料100円) 菅俣☎090-4543-0835 **ひと言!** スポーツの苦手な人、運動神経に自信のない人、高齢者歓迎!

ね」と笑いながら話してくれました。
 私もブリヂストンサイクル株の工場見学に同行しましたが、国内唯一の自転車一貫生産工場と説明を受け、少しびっくり。また市内を五つの観光コースに分け、それぞれのガイド資料を会員全員で手作りしています。実際、市内を案内していただくと、中山道と皇女和宮との関係や十連寺の由来、

道端にある庚申塔や板碑の歴史など知らないことばかりでした。上尾に住んでウン十年ですが、上尾の魅力をあためて知りませんでした。皆さんもガイドの人たちと一緒に地元を探検してみませんか。きつと素敵な発見がありますよ。今年もあげおアッピ-ガイドの会による養成講座が開かれるそうなので、興味のある人は参加してみたいかがででしょうか。

郷土の魅力を一人でも多くの市民に伝えたい



愛車と共に

らなかつた郷土の魅力を、一人でも多くの市民に知ってもらおうお手伝いができるなら」と、歴史散歩の執筆を快諾してくれました。
 「自分の街を見直し、そこに住んでいる人に話を聞きながら原稿を書き上げることに、楽しみを感じています」と語る川島さん。新たな挑戦はこれからも続きます。